

調査結果

今回の調査によって、次のことが明らかになりました。

1. 心臓病や腎臓病、糖尿病に関する「糖代謝検査(血糖値)」「腎尿路系検査(腎機能、尿検査)」「心電図検査」「呼吸器系検査(胸部X線)」の検査項目に異常所見が見られても、3人に1人が「二次検査」を受診していない項目あり。都道府県により差あり。

■ 健康診断または人間ドックにおいて、心臓病や腎臓病、糖尿病に関わる検査項目:「糖代謝検査(血糖値)」「腎尿路系検査(腎機能、尿検査)」「心電図検査」「呼吸器系検査(胸部X線)」の中で1つでも異常所見が指摘された人のうち、約3人に1人(38.2%)が「二次検査」を受診していない項目あり。

健康診断の二次検査に対する受診率の実態を調べるため、日本全国の健康診断の結果に異常所見が見られた40~69歳の人に対し、「健診結果を受けて、医療機関を受診しましたか。また、その際、再検査/精密検査/治療を受けましたか」と尋ねたところ、全23の検査項目の中で異常所見があった検査項目のうち、全ての検査項目において二次検査未受診(「まだ受診していないが、受診予定がある」「受ける予定はない」「受けるかどうか決めていない」と回答した人は37.0%、心臓病や腎臓病、糖尿病に関わる検査項目においては38.2%であった。

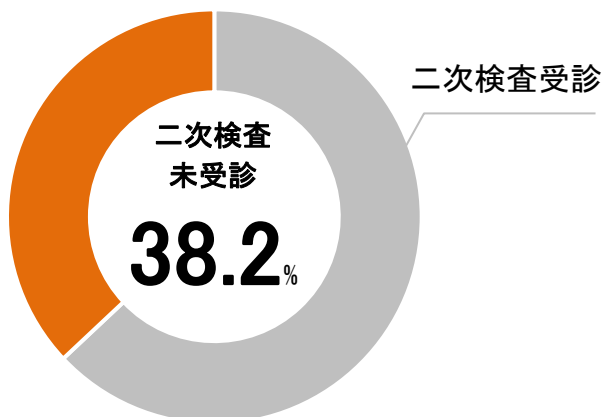
※一次調査 SC9 (n=14,869)

Q. 異常所見があった検査項目についておうかがいします。健診結果を受けて、医療機関を受診しましたか。また、その際、再検査/精密検査/治療を受けましたか。

(健康診断の23の検査項目のうち、異常所見があった項目に対して回答)

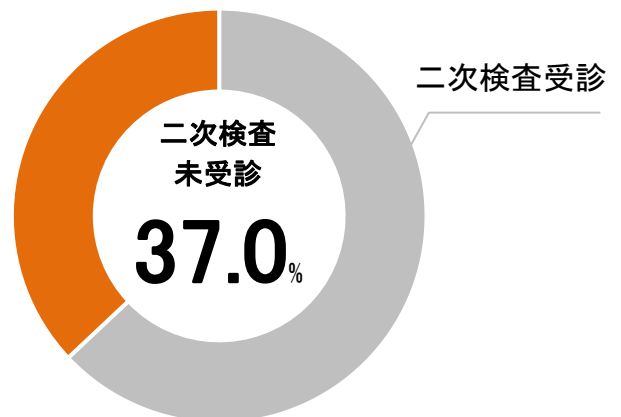
※回答した検査項目のうち、1つでも「受診して、再検査/精密検査/治療を受けた」「受診したが、再検査/精密検査/治療は受けてない」に該当した場合、「二次検診受診あり」に集計

「心臓病や腎臓病、糖尿病に関わる検査項目」



※一次調査 SC9(n=4,719)

「健康診断の全23検査項目のいずれか」



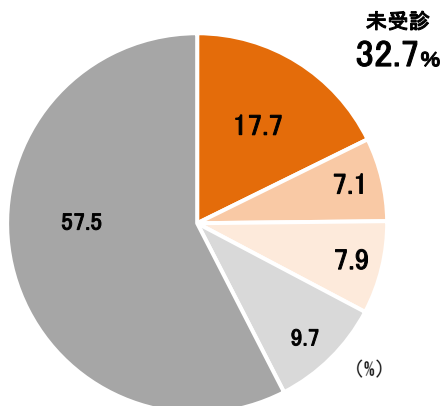
※一次調査 SC9(n=14,869)

また、心臓病や腎臓病、糖尿病に関わる「糖代謝検査(血糖値)」「腎尿路系検査(腎機能、尿検査)」「心電図検査」「呼吸器系検査(胸部 X 線)」の検査項目においては、「糖代謝検査(血糖値)」では 32.7%(811 人)、「腎尿路系検査(腎機能、尿検査)」では 42.6%(598 人)、「心電図検査」では 47.7%(786 人)、「呼吸器系検査(胸部 X 線)」では 46.0%(255 人)が二次検査を受けておらず、1 つでも受けていない項目がある人は約 3 人に 1 人(38.2%)であった。

Q. 異常所見があった検査項目についてお伺いします。健診結果を受けて、医療機関を受診しましたか。また、その際、再検査/精密検査/治療を受けましたか。(心臓病や腎臓病、糖尿病に関わる下記 4 つの検査項目のうち、異常所見があった項目に対して回答)

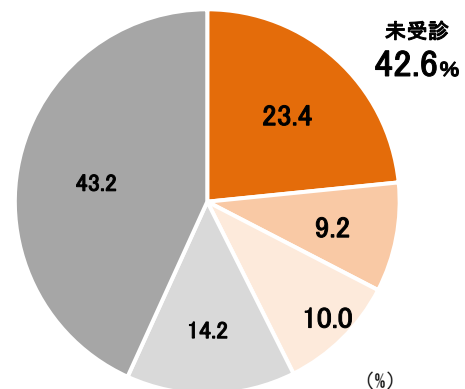
糖代謝検査(血糖値)

(n=2,476)



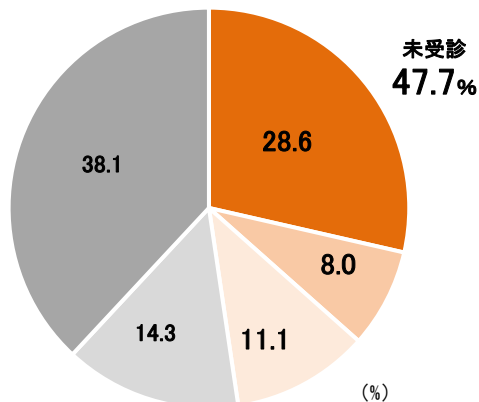
腎尿路系検査(腎機能、尿検査)

(n=1,402)



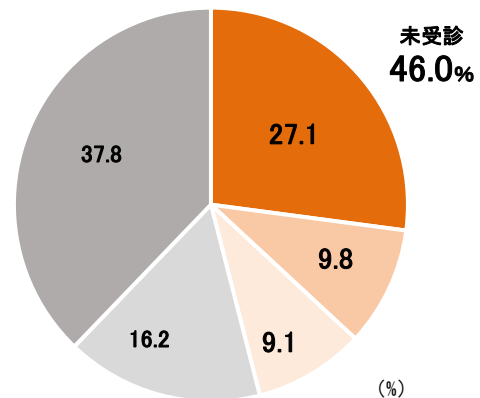
心電図検査

(n=1,651)



呼吸器系検査(胸部X線)

(n=553)



■ 受ける予定はない
 ■ 受けるかどうか決めていない
 ■ まだ受診していないが、受診予定がある
 ■ 受診したが、再検査/精密検査/治療は受けていない
 ■ 受診して、再検査/精密検査/治療を受けた

- 都道府県別でみると、宮崎県と岡山県が3つの検査項目(糖代謝検査、腎尿路検査、心電図検査)において二次検査の受診率が上位に入る。

各都道府県の二次検査の受診率を調べるため、「糖代謝検査(血糖値)」「腎尿路系検査(腎機能、尿検査)」「心電図検査」「呼吸器系検査(胸部X線)」の検査項目において受診率を比較したところ、「糖代謝検査(血糖値)」「腎尿路系検査(腎機能、尿検査)」「心電図検査」の3つの検査項目において宮崎県が上位5位以内に入っていた。また新潟県、福島県も2つの検査項目において、上位5位以内に入っていた。各検査項目の受診率は、上位と下位で最大69.5ポイントの開きが見られた。

	糖代謝検査(血糖値)		腎尿路系検査 (腎機能、尿検査)		心電図検査		呼吸器系検査(胸部X線)	
	都道府県	割合(%)	都道府県	割合(%)	都道府県	割合(%)	都道府県	割合(%)
受診率 上位5	和歌山県	90.5	宮崎県	78.5	岡山県	76.1	山口県	86.6
	宮崎県	85.8	長崎県	77.0	大分県	68.1	群馬県	79.1
	福島県	76.3	岡山県	76.6	秋田県	65.1	新潟県	78.2
	栃木県	76.2	岩手県	71.8	宮崎県	64.6	鳥取県	77.2
	岡山県	73.4	三重県	70.6	北海道	64.5	和歌山県	76.5
受診率 下位5	沖縄県	59.8	長野県	47.1	熊本県	38.6	千葉県	35.6
	長野県	59.7	徳島県	46.2	石川県	38.4	沖縄県	34.2
	大阪府	59.6	福岡県	45.2	福岡県	36.2	福岡県	26.0
	石川県	57.3	兵庫県	44.3	福井県	35.6	鹿児島県	21.4
	徳島県	50.8	福島県	42.9	兵庫県	35.2	徳島県	17.1

※一次調査 SC9(n=14,869)

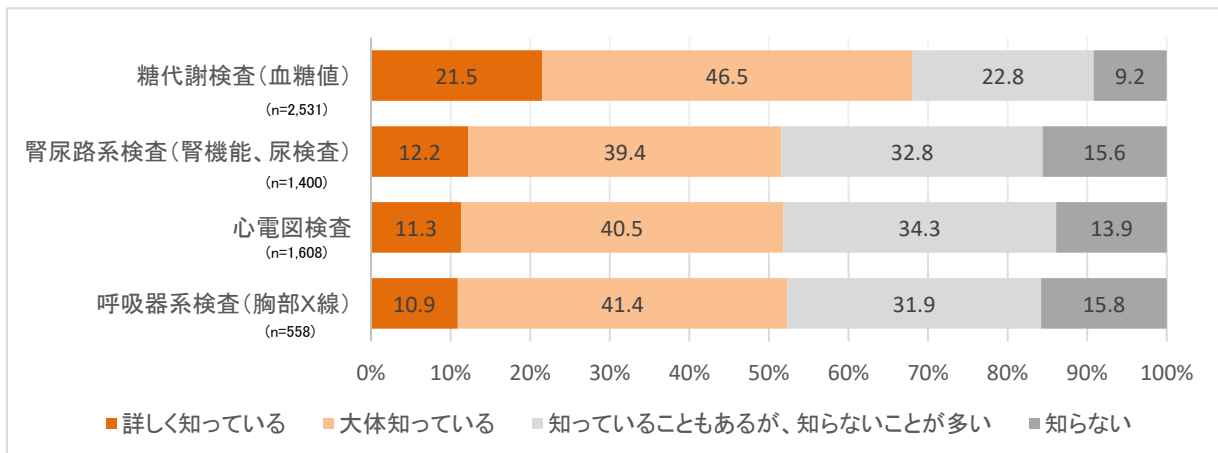
**2. 各検査項目がどんな疾患を見つけるものなのか「ある程度」以上知っている人は半数程度。
二次検査が重要と認識しつつも「現時点での緊急性／必要性を感じないから」受診を先送りに。**

- 「糖代謝検査(血糖値)」「腎尿路系検査(腎機能、尿検査)」「心電図検査」「呼吸器系検査(胸部 X 線)」のうち、自身に異常所見があった検査項目がどんな疾患を見つけるものなのか「ある程度」以上知っている人は半数程度。

「糖代謝検査(血糖値)」「腎尿路系検査(腎機能、尿検査)」「心電図検査」「呼吸器系検査(胸部 X 線)」のうち、異常所見が見つかった検査項目について、「健康診断の検査項目がどのような疾患を見つけるためのものか、ご存知ですか」を尋ねたところ、「詳しく知っている」「大体知っている」と回答した人が、「糖代謝検査(血糖値)」では 68.0%、「腎尿路系検査(腎機能、尿検査)」では 51.6%、「心電図検査」では 51.8%、「呼吸器系検査(胸部 X 線)」では 52.3%にのぼり、半数以上の方が異常所見のあった検査項目が、どんな疾患を見つけるものか知っていることが分かった。

※二次調査 Q10(n=4,700)

- Q. あなたは、以下の健康診断の検査項目がどのような疾患を見つけるためのものか、ご存知ですか。
それぞれについて、最も近いものを 1 つお選び下さい。(異常所見があった項目に対する回答)

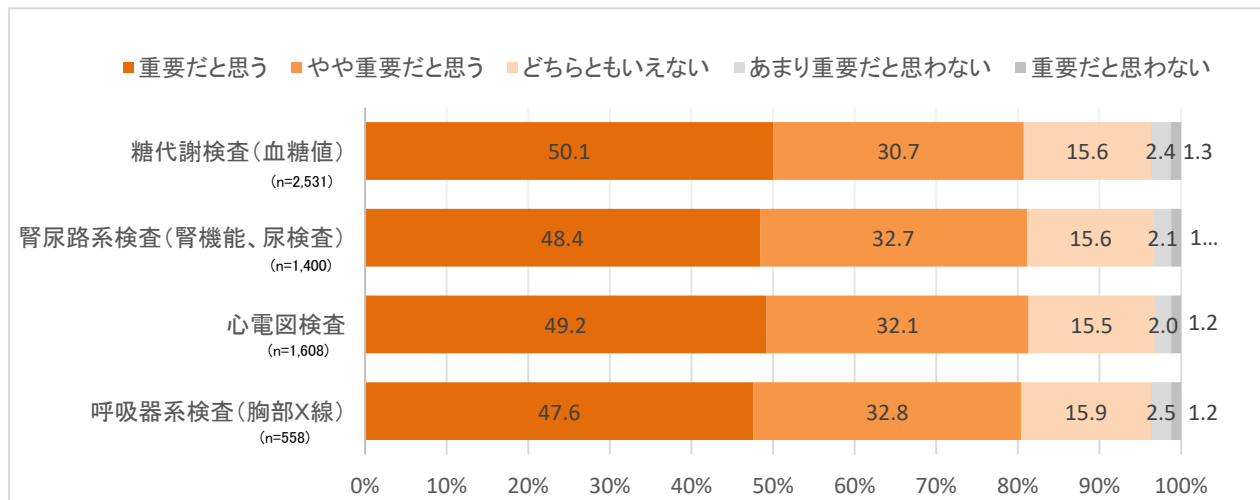
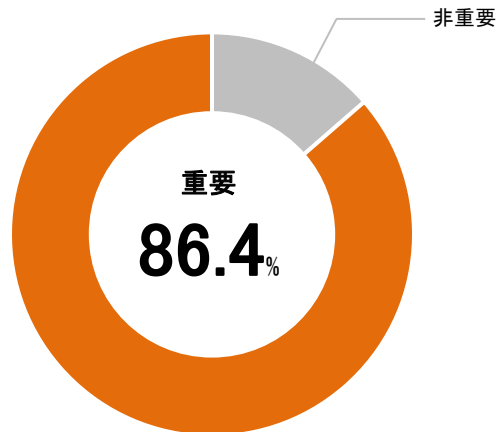


- 糖代謝検査(血糖値)、腎尿路系検査(腎機能、尿検査)、心電図検査、呼吸器系検査(胸部 X 線)に異常所見があった場合に二次検査を受診することが重要との回答が 8 割以上。

心臓病や腎臓病、糖尿病に対する二次検査の意識を調べるため、各検査項目に対し「異常所見があった場合に再検査や精密検査を行うことが重要と思うか」と尋ねたところ、「重要だと思う」「やや重要だと思う」を合わせた数字が「糖代謝検査(血糖値)」80.8%、「腎尿路系検査(腎機能、尿検査)」81.1%、「心電図検査」81.3%、「呼吸器系検査(胸部 X 線)」80.4%といずれも 8 割を超えており、いずれか 1 つでも「重要だと思う」「やや重要だと思う」と回答した人が、86.4%に達した。

※二次調査 Q11 (n=4,700)

Q. 健康診断で異常所見があった場合に再検査や精密検査を受診することは、あなたにとって重要だと思われますか。
以下の検査項目のそれぞれについて、お気持ちに最も近いものを1つお選び下さい。

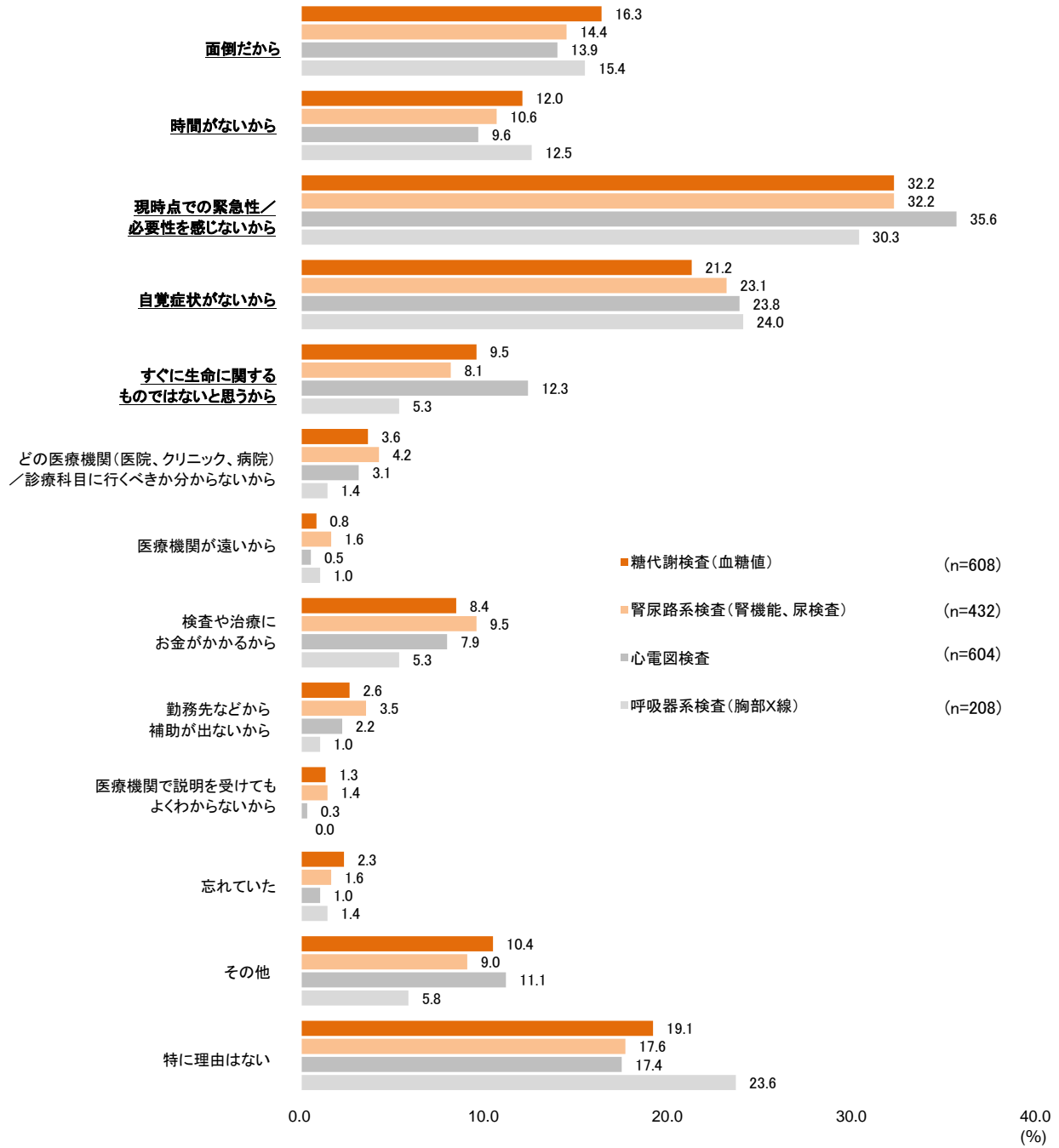


■ 二次検査を受診しない理由は、「現時点での緊急性／必要性を感じないから」が最も多い(4項目平均 32.6%)。

一方で、「糖代謝検査(血糖値)」「腎尿路系検査(腎機能、尿検査)」「心電図検査」「呼吸器系検査(胸部X線)」の検査項目に1つでも異常所見があった人のうち、1つでも二次検査を「受ける予定はない」あるいは「受けるかどうか決めていない」と回答した人に対し、要検査/精密検査/治療を受けていない理由を尋ねたところ、検査項目間で大きな差はなく、「現時点での緊急性／必要性を感じないから」が最も多い(4項目平均 32.6%)結果となった。次いで「自覚症状がないから」「面倒だから」「時間が無いから」という回答が見られた。二次検査を「重要である」と考えてはいるものの、現在特に問題が発生していないことや他の予定を優先し、先延ばしにしていることが示唆される。

※二次調査 Q8 (n=1,348)

Q. 再検査/精密検査/治療を受けていない項目がある人におうかがいします。
再検査/精密検査/治療を受けていない理由にあてはまるものを、すべてお選びください。



3. 異常所見を放置した人のうち、心臓病や腎臓病、糖尿病を放置すると将来的に合併症を引き起こすリスクを知っていれば、二次検査を受診すると 39.5%が回答。

- 心臓病や腎臓病、糖尿病に関わる項目で異常所見があった方のうち、「心臓、腎臓、代謝の各機能は相互に関連しあっていて、一つの機能障害が他の臓器に悪影響を及ぼすこと」について知っている人は 59.2%。

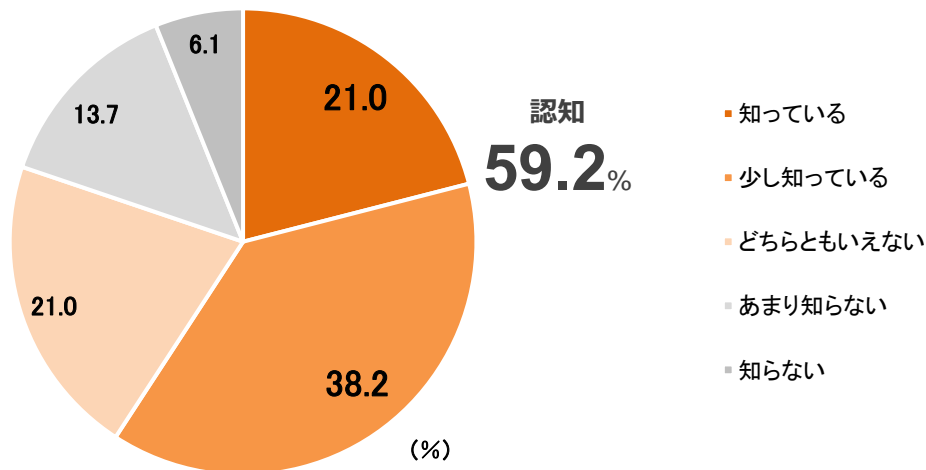
「糖代謝検査(血糖値)」「腎尿路系検査(腎機能、尿検査)」「心電図検査」「呼吸器系検査(胸部 X 線)」の検査項目に 1 つでも異常所見があった人に対し、「心臓、腎臓、代謝の各機能は相互に関連しあっていて、1 つの機能障害が他の臓器に悪影響を及ぼすこと」について尋ねたところ、「知っている」または、「少し知っている」と回答した人は 59.2%(2,784 人)であった。

※二次調査 Q13_2 (n=4,700)

Q. あなたは健康や疾患に関する以下の記述についてご存知ですか。

「心臓、腎臓、代謝の各機能は相互に関連しあっていて、一つの機能障害が他の臓器に悪影響を及ぼすこと」

※4つの検査項目のうち、1つでも各選択肢に該当していた場合、右記の順位で集計 「1 知っている」「2 少しだけ知っている」「3 どちらともいえない」「4 あまり知らない」「5 知らない」



- 異常所見を放置した人のうち、心臓病や腎臓病、糖尿病を放置すると将来的に合併症を引き起こすリスクを知っていれば、二次検査を受診すると 39.5%が回答。

「糖代謝検査(血糖値)」「腎尿路系検査(腎機能、尿検査)」「心電図検査」「呼吸器系検査(胸部 X 線)」の検査項目に 1 つでも異常所見があった人のうち、前トピック(心臓、腎臓、代謝の各機能は相互に関連しあっていて、1 つの機能障害が他の臓器に悪影響を及ぼすことを知っていたら、二次検査や再検査・精密検査を受けようと思いますか)に「知らない」「あまり知らない」「どちらでもない」と回答した方に対し、「知っていたら、二次検査や再検査・精密検査を受けようと思うか」を尋ねたところ、「受けていたと思う」39.5%(756 人)と、約 4 割の人が二次検査を受けると回答した。

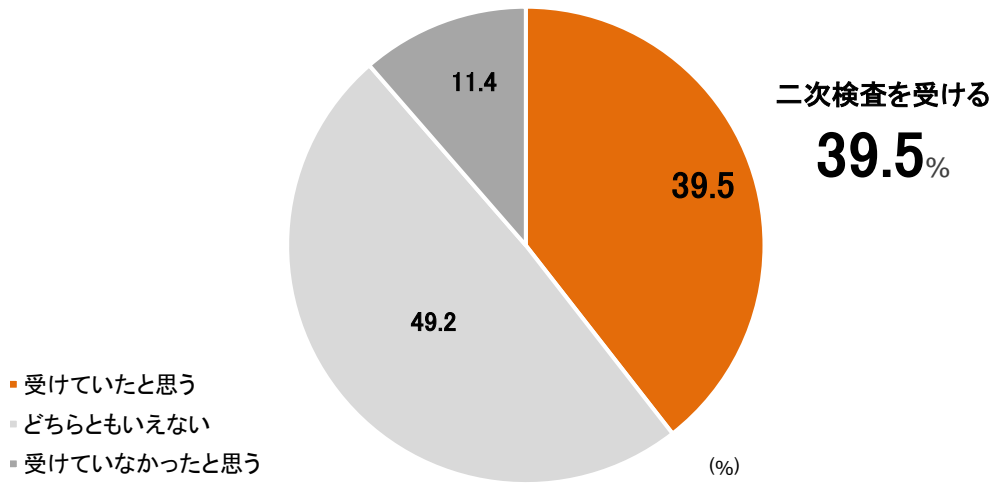
※二次調査 Q14_2(n=1,916)

Q. 以下を知っていたら二次検査や再検査・精密検査を受けようと思いますか。

「心臓、腎臓、代謝の各機能は相互に関連しあっていて、一つの機能障害が他の臓器に悪影響を及ぼすこと」

※ 前トピックで「知らない」「あまり知らない」「どちらでもない」に該当した人のみ回答

※ 4つの検査項目のうち、1つでも各選択肢に該当していた場合、右記の順位で集計
「1.受けていたと思う」「2.どちらともいえない」「3.受けていなかったと思う」



- 異常所見があった人のうち、心臓病や腎臓病、糖尿病と関連する4つの検査項目において、心腎代謝連関について知っている人の方が二次検査の受診率が高い。

更に、心臓病や腎臓病、糖尿病を放置すると将来的に合併症を引き起こすリスクを「知っている／少し知っている」人と、「どちらとも言えない／あまり知らない／知らない」人の二次検査の受診率を比較したところ、4つの検査項目ともに、「知っている／少し知っている」人の方が受診率も高く、心腎代謝連関について理解がある人の方が二次検査の行動に繋がっていることが推察された。

※ 一次調査 SC9(糖代謝検査(血糖値)、腎尿路系検査(腎機能、尿検査)、心電図検査、呼吸器系検査(胸部X線))×二次調査 Q13_2でクロス集計

<心腎代謝連関の理解と検査項目毎の二次検査の受診率>

		糖代謝検査(血糖値)					該当数	腎尿路系検査(腎機能、尿検査)						
		二次検査受診		二次検査未受診				二次検査受診		二次検査未受診				
		精密検査／治療を受けた	受診して、再検査／治療を受けていない	受診したが、再検査／精密検査／治療を受けていない	まだ受診していないが、受診予定がある	受ける予定はない		い	受けるかどうか決めていない	精密検査／治療を受けた	受診して、再検査／精密検査／治療を受けていない	受診したが、再検査／精密検査／治療を受けていない	診予定がある	まだ受診していないが、受
全体		2,531	1,725	806			1,400	826		574				
心腎代謝連関の理解	知っている	1,591	76.1%	23.9%			801	68.9%		31.1%				
	少し知っている													
	どちらとも言えない	940	54.7%	45.3%			599	45.7%		54.3%				
	あまり知らない 知らない													

		心電図検査					該当数	呼吸器系検査(胸部X線)						
		二次検査受診		二次検査未受診				二次検査受診		二次検査未受診				
		精密検査／治療を受けた	受診して、再検査／精密検査／治療を受けていない	受診したが、再検査／精密検査／治療を受けていない	まだ受診していないが、受診予定がある	受ける予定はない		い	受けるかどうか決めていない	精密検査／治療を受けた	受診して、再検査／精密検査／治療を受けていない	受診したが、再検査／精密検査／治療を受けていない	診予定がある	まだ受診していないが、受
全体		1,608	851	757			558	296		262				
心腎代謝連関の理解	知っている	896	62.3%	37.7%			306	58.8%		41.2%				
	少し知っている													
	どちらとも言えない	712	41.2%	58.8%			252	46.0%		54.0%				
	あまり知らない 知らない													

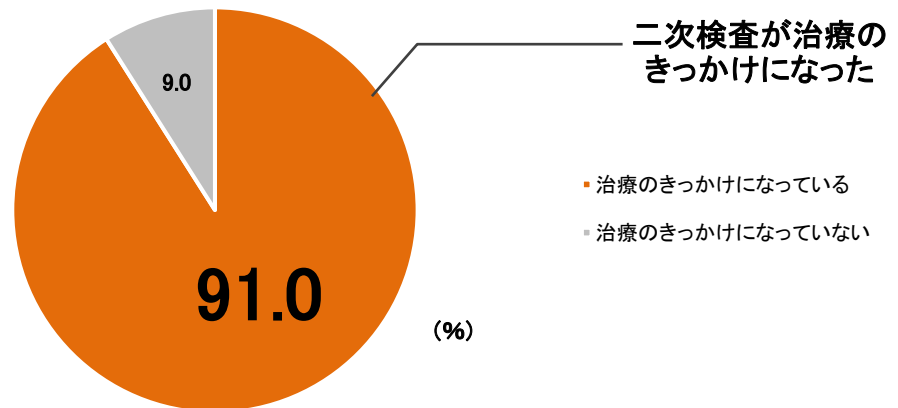
- 既に心臓病や腎臓病、糖尿病といった心腎代謝にかかわる疾患で通院中の人のうち 91.0%の人が、「二次検査」が治療のきっかけになったと回答。

「糖代謝検査(血糖値)」「腎尿路系検査(腎機能、尿検査)」「心電図検査」「呼吸器系検査(胸部 X 線)」の検査項目のうち 1 つでも異常所見があり、「医療機関を受診して、再検査/精密検査/治療を受けた」かつ、「薬物治療を行った(行っている)」または「今後行うことが決まっている」1,580 人に対し、「再検査や精密検査を受けたことが、治療のきっかけになっているか」と質問したところ、「治療のきっかけになっている」80.9%(1,279 人)、あるいは「やや治療のきっかけになっている」10.1%(159 人)と回答があり、二次検査の受診が治療に繋がっている様子が伺えた。

※二次調査 Q7 (n=1,580)

Q.再検査や精密検査を受けたことが、治療を行うきっかけになっていますか。

※回答した検査項目のうち、1 つでも「治療のきっかけになっている」「やや治療のきっかけになっている」と回答した場合、「治療のきっかけになっている」に集計



心臓病や腎臓病、糖尿病の早期発見・早期治療を目指す取組みについて

日本ベーリンガーインゲルハイムと日本イーライリリーは、この度、健康診断の異常所見に対する二次検査(ニジケン)の受診促進および心臓病や高血圧系疾患、腎臓病や糖尿病の早期発見・早期治療を目指す取組みとして、健診結果の既読スルー防止を促す「ニジケン Project」を発足しました。より多くの人に二次検査を受診することの重要性を知っていただき、隠れた疾患の早期発見・早期治療への一歩へとつながることを目指します。

